

## ▼ ソービタ [注] &lt;製造中止&gt;

【重要度】★ 【分類】高カロリー輸液用総合ビタミン剤

【単位】▼組 (1・2・3号)

【常用量】1日1組 (1・2・3号)

【用法】点滴静注

【透析患者への投与方法】透析患者では、元来VA過剰症であるため、脂溶性ビタミンの3号製剤のみを投与量調節できる利点がある。ただし抗菌剤投与時にはVK欠乏症が起りやすいため、3号製剤を使用しないときにはVKを投与する必要がある (5)

【保存期腎不全患者への投与方法】CLCr>50mL/min: 減量の必要なし、CLCr10~50mL/min :7 減量の必要なし、CLCr<10mL/min :減量の必要はないが、ビタミンAの蓄積に要注意 (5)

【特徴】配合成分各ビタミンの安定性を保証するため、1号・2号・3号の組み合わせ注射剤として製剤設計されたもの

【副作用】ショック, 発疹, 紅斑, 搔痒感, 悪心・嘔吐, 食欲不振, 下痢

【TDMのポイント】TDMの対象にはならない

【備考】血友病の患者には出血時間を延長することがある (パントテノール含有のため) ため禁忌。各種の尿糖検査で、尿糖の検出を妨害、また、尿を黄変させ、臨床検査値に影響を与えることがある。

【更新日】20100324

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。